

グローバルニッチトップ企業100選に ヤナギヤが選定されました!

グローバルニッチトップ企業 100選
表彰企業概要



2014年3月17日
経済産業省

経済産業省が選定を進めていた「グローバルニッチトップ企業 100選」にヤナギヤが選ばれ、3月17日に経済産業省にて表彰式が行われました。選定は今回が初の試みで、評価基準は、世界シェアと利益の両立、獨創性と自立性、代替リスクへの対処、世界シェアの持続性とのこと。100社を選定する事で次世代の見本とする考えです。選定された企業の業種は、機械・加工が52社、素材・化学が20社、電気・電子が15社、消費財・その他が13社。中国地方からは4社、山口県では1社、ヤナギヤが所属する日本食品機械工業会からは6社が選定されました。

GNT企業

グローバルニッチトップ企業100選とは?

経済産業省ホームページ
<http://www.meti.go.jp> より

経済産業省は、国際展開に優れ、我が国経済のけん引役となる企業を支援し、国際競争力の向上を確保していくことを任務としています。

この観点から、**グローバル展開に優秀と認められる実績がある企業**を「グローバルニッチトップ企業 (= GNT 企業)」として顕彰するとともに、こうした企業の経験値を一般化し、GNT企業を目指す企業に対する経営の羅針盤を示すことを目的として、「グローバルニッチトップ企業 100選」を選定。

評価のポイント

①世界シェアと利益の両立、②獨創性と自立性、③代替リスクへの対処、④世界シェアの持続性等に着眼し、「グローバルニッチトップ企業 100選」として100社、100選に準じる企業を「ネクストGNT」として7社選定しました。

今回選定された企業の取組事例の情報発信を通じて、さらの多くの企業がグローバル市場に挑戦、飛躍するための羅針盤となり、我が国企業の競争力向上につながることを期待します。

株式会社ヤナギヤ



代表取締役社長 柳屋 芳雄 住所:山口県宇部市善和 189-18
電話:0836-62-1661 URL:<http://www.ube-yanagiya.co.jp/>
設立:1950年 従業員数:150名

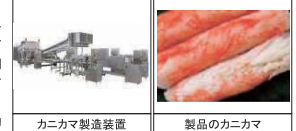
GNTとなっている製品・サービスとその内容、強みの理由

同社は、水産練り製品の世界規模ヒット商品である「カニカマ」の製造装置において、世界シェアほぼ70%を占めています。

昭和初期に蒲鉾屋であった同社は、蒲鉾の原料を効率的に生産する蒲鉾用攪拌機を開発したことをきっかけとして、蒲鉾製造の機械化を実現しました。その技術をもとに、1979年にカニカマの自動生産設備を開発しました。その後、「もっと本物のカニの味や食感に近づけられないか」と考え、カニカマ製造会社との連携により、同社で改良を重ね、繊維の形状に着目し、斜め繊維、短繊維の連結、V型斜短繊維などの製品を開発し、さらにカニの「つめ肉」の食感や「うで肉」のよりリアルな食感を追求し、本物以上といわれるまでに深化したカニカマ製造装置を開発しました。

同社のカニカマ製造装置は、海外販売により現在世界中で導入されており、「カニカマ」が生産される21カ国のうち、19カ国で同製品が使用されています。

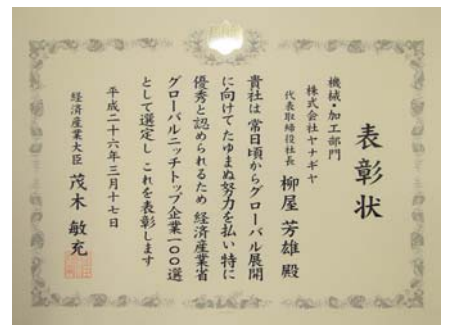
カニカマの日本国内の生産量は約5万トンですが、海外でその約8倍が生産され、その商品の約7割は同社の製造装置が使用されています。



本物以上の味と食感といわれるカニカマ製造装置の開発で、世界シェアほぼ70%を獲得し、カニカマ製造において、カニの繊細な繊維質を再現する研究を重ね、本物以上の食感を味わうことが出来るカニカマ製造技術を開発しました。



表彰状と盾



経済産業省で開催された表彰式



茂木経済産業大臣の挨拶



2組に分かれて記念撮影! ヤナギヤはBグループ
柳屋社長: 最上段左から2番目

写真提供: かまぼこ通信 小山様